

10 紹介率

11 逆紹介率

指標の説明・定義

紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合です。一方、逆紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関へ紹介した患者の割合です。高度な医療を提供する医療機関にだけ患者が集中することを避け、症状が軽い場合は「かかりつけ医」を受診し、そこで必要性があると判断された場合に高い機能を持つ病院を紹介受診する、そして治療を終え症状が落ち着いたら、「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過を観察する、これを地域全体として行うことで、地域の医療連携を強化し、切れ間のない医療の提供を行います。

※「日本病院会 QIプロジェクトより」より引用

〔10 紹介率〕

分子 分母のうちの紹介初診患者数

分母 初診患者数－（休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数＋休日・夜間の初診救急患者数）

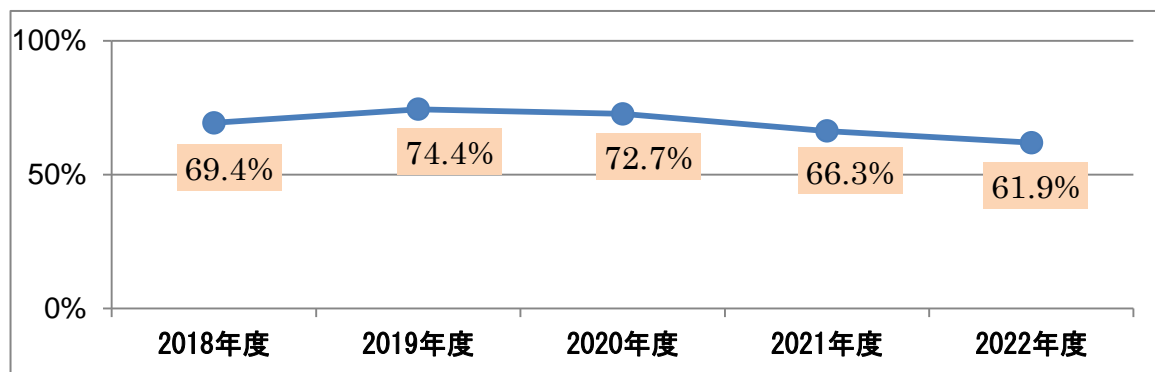
〔11 逆紹介率〕

分子 分母のうちの逆紹介患者数

分母 初診患者数－（休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数＋休日・夜間の初診救急患者数）

結果

〔10 紹介率〕

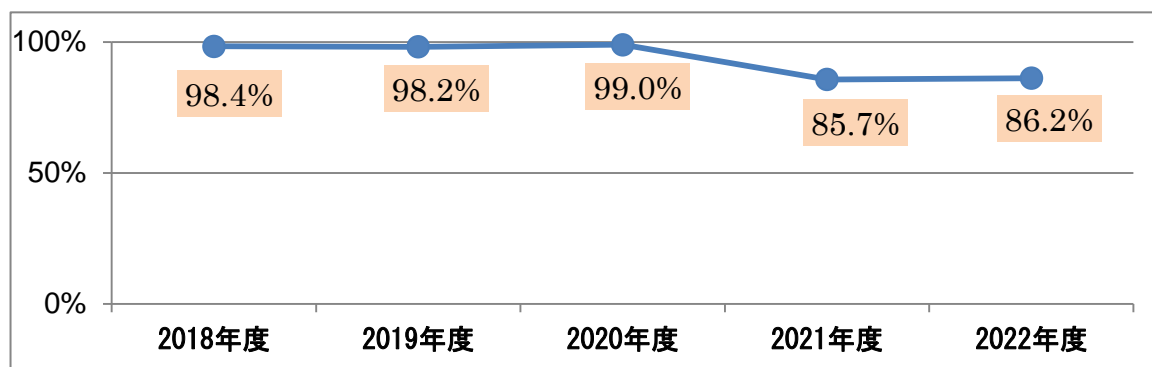


	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
分子	7,619人	7,798人	7,666人	8,228人	8,221人
分母	10,986人	10,475人	10,544人	12,409人	13,277人

※ 当院は2020年度より新型コロナウイルスの発熱外来を設け、市中に蔓延した2021年度以降は多くの新型コロナウイルス患者や感染を疑われる患者を受け入れています。

これら患者の多くは初診であり、又他院からの紹介の無い患者であるため、発熱外来で受け入れる患者が多い期間の紹介率は低くなる傾向にあります。

〔11 逆紹介率〕



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
分子	10,806人	10,286人	10,435人	10,636人	11,446人
分母	10,986人	10,475人	10,544人	12,409人	13,277人

※ 紹介率と同様に、発熱外来で受け入れる患者が多い期間は、指標の分母に当たる初診患者数が増加するため逆紹介率も低くなる傾向にあります。